

登米市産農産物販売促進活性化プロジェクト事業

施策のポイント

第六次産業に着目し、多様で多量な農畜産物を生産する市が持つ優位性を高めるため、ビジネスマッチング事業、登米市農産物 PR のための隣接自治体との共同フェア開催、環境保全米ステップアップ事業を実施することで、農産物を効果的に売り込む仕組みづくりの強化を目指す。

自治体情報

宮城県登米市

人口 / 86,289人

標準財政規模 / 28,248,228千円

担当課 産業経済部農林政策課ブランド戦略室

電話番号 直通 0220-34-2716 代表 0220-22-2111

実施主体 登米市

関連ホームページ <http://www.city.tome.miyagi.jp>

事業期間 平成 22 年度から

参考とした施策

関係施策分類

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

農産物価格の低迷が続く中、市内農産物の販路拡大と農業所得の向上を図るため、農業生産者が積極的に加工、流通、販売に主体的・総合的に関わることで、さらなる付加価値の向上と市が持つ優位性を高め、地域経済に波及させるもの。

2 取り組みの具体的内容

(1) アグリビジネスマッチング事業

隣接自治体と連携したビジネスマッチングにより、ホテルやレストラン、飲食店、小売店などの多様な実需者から評価される機会を設け、「登米市産」の露出機会を増やし、選ばれる産地としての地位確立に取り組む。

(2) 大地の恵みと海の味わいフェア事業

宮城県内の有名ホテル等の調理人、仲卸等流通関係者などの実需者へ登米市産農産物等の知名度及び付加価値の向上を図り、市内農業者と都市部消費者との交流促進や PR 機会を設ける。

(3) 環境保全米ステップアップ事業

環境対策への取り組み効果について、外部に評価されるのではなく、大学教授や環境保全米ネットワークと連携し、二酸化炭素削減や生態系保全などの活動結果を数値等で「見える化」し、生産者側からその効果を積極的に発信・PR して高付加価値化を図り、販売促進につなげる。

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- ・「登米市」の産地としての知名度向上と、市農産物の高付加価値化による販路拡大と農家所得の向上。
- ・隣接自治体との連携による農産物と水産物を組み合わせた新商品の開発等農商工連携の推進、広域観光圏形成。

4 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

農産物を効果的に売り込む仕組みづくりを推進しながら、市を代表する環境保全米を中心に、市農産物を幅広くPRするとともに、さらなる付加価値の創造を期すため、水産物販売を推進する隣接自治体と連携する。

5 今後の展開と課題

ビジネスマッチングにおける企業等の情報収集、環境保全の活動効果の数値化、生産者の意識改革、より魅力ある提案などをしていくためにも、様々な機関との連携が不可欠。

予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳（財源区分：①～⑤）				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
H21：7,600千円		0千円	2,949千円	0千円	0千円	4,651千円
①～④の名称、 所管など	名称		市町村振興総合補助金			/
	所管		地域振興課			
	金額		2,949千円			
	補助率		補助対象事業費の1/2			